

紡ぎプロジェクト

の紹介。

広島国際大学紡ぎプロジェクトは、 西日本豪雨災害後より呉市社会福祉協議会 と連携して災害ボランティア活動を 行っています。

防災の取り組みとして防災リーフレット を作成しました。

ぜひ、ご活用下さい!



作成:広島国際大学 チャレンジプロジェクト 紡ぎプロジェクト 協力:呉市社会福祉協議会



私たち **過ぎプロジェクト**の学生が 住民の方へインタビューを行いました。



80年近く生きてきて こんなに大きな被災経験は 初めて。災害が引き起こした 生活課題に対して 「今まで大丈夫だったから これからも大丈夫」という 考えは危険だと 気付いた。 自分の命を守るためには
ハザードマップなどで
自分の住んでいる場所の危険度を知り
適切なタイミングで
避難をすることが大事。



被災体験の共有を通じて 自分の気持ちを吐き出したり 整理したりすることが 心の安定に つながっている。

公営住宅に入居して 生活環境も人間関係も新しくなった。 被災を通じて支え合う大切さを 感じたので、住民同士の関わりを 密にしていきたい。

公営住宅が 建設されたおかげで、住み慣れたまちに 暮らし続けられている。自分の家が あることへの安心感が強い。

~呉市社会福祉協議会(呉市地域支え合いセンター)の職員の方に、インタビューを行いました~



被災された方の生活再建支援を通して 考えられたことや住民の方にお届けしたい メッセージをお聞きしました。

災害は必ず起きるから 自分の身は自分で守る という意識を一人一人が 持つことが大切。



専門職として 被災された方の生活課題に 真摯に対応してきた。 私たちが被災された方の 気持ちに寄り添い また安定した生活を 送ることができるように サポートすることが 心の復興に繋がっている のだと感じている。



日頃から人々とつながり、支え合い、災害時にも助け合える 地域を住民と共につくっていく。

⇔防災リーフレット発行に寄せて 呉市社会福祉協議会 松坂 凪紗 ⇔

呉市社会福祉協議会は、紡ぎプロジェクトと共に、西日本豪雨災害により被災された方々に寄り添った活動を続けてきました。

この大きな災害を経て、平常時からの人と人とのつながりの大切さを改めて感じた方も多いのではないでしょうか。 私たちは今後も、人と人とがつながり・支え合い、いざという時にも強い呉のまちづくりを進めていきます。



エクトからのメッセージ





いいね!:HiU 広島国際大学、他 Tsumugi-Project 今回、災害時の状況について 広国学生にアンケートを行いました。

- 🕡 避難指示が出たので、家族と早い時期から避難所に行ったよ。
- 断水すると放送があったのですぐにお風呂に水をためました。 断水してからは、洗顔や入浴ができなくて困ったなぁ。
- **(^^^)ニュースで災害の情報が流れて、とっさに、貴重品や着替え、食** 料と飲料を持ちだせるように準備したけど、その時焦って準備し たから、リュックにまとめたものを自宅に置いておくべきだと 思ったよ。僕はこの教訓を、他の人と共有したかったんだ。
- 阿 僕は、最新の状況を知りたかったし、家族・友達と連絡も取り たかったけど、スマホが使えなくて困ったよ。
- 電車が止まって、道路は陥没、土砂の貯留などでライフライン が遮断されて、家に帰れなかったの…。
- **グラ 避難先で、携帯用バッテリーを持っていたことが良かったなぁ。** 離れた友人と連絡を取り合うために欠かせないと思ったよ。
- 🤼 近所の方と連絡が取れず、おじいちゃんやおばあちゃんが心配 でした。

友達と連絡が取れたことで、情報交換ができたことがとても心 強かったです♥

- 授業で習ったんだけど、広島マイタイムラインっていうのがあ るよ。自分や家族専用の避難までのタイムラインを作ることが 出来るんだよ。
- 災害後すぐにスーパーに買い物に行ったけど何も無かった。だか ら、食料品や水は日頃からストックしておかないといけないね。
- 避難場所や避難経路は家族と確認して忘れないように紙などに 記録すると良いかも、と思います。

2018年7月豪雨災害で、広国学生に聞いた あれば助かるもの6選!!







災リーフレット作成メンバー

平賀・

濱田

山本

枝川

米今

シガ





世中国分 防災公公分分式

がけ崩れの予兆、前兆として見られる現象 はどれでしょう??

- ①がけから水が吹きだす
- ②がけに亀裂が入る
- ③小石がパラパラと落ちてくる
- ④がけから音がする

防災リーフレット発行に寄せて

広島国際大学は、「建学の精神」の 中で「世のため、人のため、地域のた め、理論に裏付けられた実践的技術 をもち、現場で活躍できる専門職業 人を育成する。」と掲げており、学業 だけでなく、課外活動やボランティ



ア活動等も在学中から積極的に行い、地域との接点 をもつことを重要な課題としております。

「紡ぎプロジェクト」は、本学学生による地域に おける災害ボランティアを主体とする本学の代表 的な学生活動の一つです。呉市社会福祉協議会の 多大なるご協力を頂きながら、学生たち自身が課 題を見つけ、地域のために必要だと考えた行動を 実践しています。もちろん、地域のために必要な課 題を見つけるためには、地域の方と交流させて頂 くことが最優先であり、そのことは問題解決への 糸口となるとともに、学生たち自身の「ひと」とし ての成長にも大きく役立っています。

今回は特に地域防災について、地域の方のご経 験やご意見を傾聴させて頂いた学生が、若者の目 線も交え、防災についての情報発信や啓発に取り 組んでいます。「人と人の関係を『紡ぐ』」ことを大 切にする学生たちの思い、活動にご賛同、ご協力を 賜れば幸いです。

広島国際大学 副学長 堀 隆光

